

幡多希望の家

◆◆ No.9 ◆◆



医療型障害児入所施設
療養介護事業
幡多希望の家

TEL (0880) 66-2212 FAX (0880) 66-2215
HP ▶ http://www.hatakibou.jp/
Mail ▶ hataki01@mb.gallery.ne.jp
◀発行所▶〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山867番地
◀発行日▶2019年1月15日



施設長便り 第9号

新年明けましておめでとうございます。平成の最後の年、31年が始まりました。昨年も様々な出会いと別れがありました。7月には希望の家開設当初から21年の長い期間入所されていた男性が亡くなりました。9月には土佐市民病院から転院し入所された女性が入所後も病状が不安定で、結局2週間後には他院へ入院し、その2週間後には亡くなりました。わずか2週間しかお世話が出来ず、訃報を聞いたときには職員一同啞然として、申し訳ない気持ちで一杯でした。

また12月に希望の家の医療の現場にあって、十年の長期にわたって中心的な役割を果たしてこられた木村先生が退職されました。昨年の初めに大きな病気をされ体力的な限界を感じられての退職の意向であり、これ以上こちらの都合で引き止めることは出来ないと判断しての結論でした。いつも飄々として、優しく患者さんの診察をされる様子は、患者さん、そのご家族だけでなく職員にも大きな安心を与えてくださるものでした。小児神経科領域での長年に亘る先生の業績は余人を以って替えがたいものがありますが、松井先生を中心に、協力して下さる先生方に助けていただいて、木村先生が抜けた後の大きな穴を少しでも埋めて行きたいと思っております。

他にも数人の職員が希望の家を退職されました。新しい職場で自分自身のステップアップを目指していかれた方もいますし、定年退職された方もいます。それぞれの皆さんの人生設計の中での判断であると思えます。希望の家の退職された皆さんのその後の人生が皆さんにとって豊かで輝かしいものであることを願って居ります。

別れがあれば新たな出会いもあります。昨年もそれぞれが加わりました。学校を卒業してすぐの方は学校で



施設長 山本 洋

学んだ最新の知識を活かして、転職されてきた方はそれまでの職場での経験を活かして新しい風を吹き込んでいただきたいと思います。

入所者の皆さんの日常生活が平穏で健康で営まれますように、その中でも少しでも四季の移ろいを感じられそうですように、一日のうちでもメリハリのついた少しでも楽しいと感じられるような時間が持てますように、職員皆さんで色々と工夫して行きましよう。

昨年電動車椅子の操作を覚えて院内の廊下を自由に走ることが出来るようになり、笑顔がはじけた女の子がいます。今年には安全な屋外への挑戦が始まります。今年4歳になる男の子は自力歩行が期待できるまでに成長してきました。子供達の発達の進歩はすばらしいものです。皆で応援していきましょう。今年も宜しくお願いいたします。



木村先生からのお言葉

10年間お世話になりありがとうございます。希望の家は横浜の大学の18年に次ぎ2番目に長い勤務です。大学を辞め、横浜療育センターの施設長になりましたが、児童相談所とは喧嘩ばかりで65歳で辞め、次は良い釣りの出来るところをキーワードにし、希望の家にしました。遊んでくれた山本さん、小松さん、武内先生等に感謝しております。希望の家に入所している方は今まで通り現場の職員が頑張ってくれます。重心施設は病院のような検査や治療はできませんが、原則では利用者と同職員数は1対1でマンパワーは施設の方が多く、日常のケアは病院より良いと思います。夜間の急患入院な



感謝

木村清次先生へ

幡多希望の家関係者より 心をこめて

気がいつもいる』と小言を言われそうです。私はあとの位生きれ、どこで死ぬのか分りませんが、ここでの思い出はあの世へ持ってゆきます。長い間、本当にありがとうございました。

※12月8日、木村先生の送別会で頂いたお言葉を抜粋したものです。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年4月より、編集委員のメンバーになりました。春夏秋冬の出来事を和気あいあいとした雰囲気です。『あーでもない』『こーでもない』と話し合っって作り上げていく過程は、私にはとても楽しい時間です。発行直後にミスを見つけては冷汗をかきことも多々ありますが、めげることなく次の号へとハッスルしてみんなを取り組んでいきたいと思っておりますので、これからも機関紙『幡多希望の家』をよろしく願います。

給食紹介



メニュー

- ・海鮮散らし寿司
- ・照り焼きチキン
- ・磯華玉子焼き
- ・帆立
- ・饅頭(玄)
- ・昆布煮
- ・蒲鉾
- ・清汁
- ・苺

ちょっとひとこと

保育園で息子の受け持ちの保育士さんが教えてくれました。もうすぐクリスマスのある日、サンタさんの絵本の読み聞かせが終わってずいぶんあとに、3才の息子が・・・

「クリスマスはサンタのおじいさんがプレゼントくれるがやる？ お誕生日はたんじょうびじいさんがプレゼントくれるが!？」

と目をキラキラさせて質問してきたそうです。

息子の頭の中はプレゼントでいっぱいだったようです。

2018年度

秋～冬コレクション

さくらんぼ (通所)



- ◎秋の実りを頂くお芋掘り
- ◎運動会は晴れ渡る秋空の下でやりたかった...
- ◎クリスマス会・出張サンタも年に一度のお楽しみでしたよ～
- ◎延光寺へ初詣。今年も元気で過ごせますように。

車イス型 タンデム自転車



これがタンデム自転車

◎タンデム自転車の走行疑似体験！
入所利用者・在宅サービス利用者の方、4名で参加しました。
四万十川沿いを走行したり、帆掛け船に乗船したり、普段できない体験に笑顔いっぱいでした。



ブログにも記事を載せています。
詳細はぜひこちらで
<http://www.hatakibou.jp/>

のぞみ病棟 クリスマス会



交流学習



◎毎年恒例の福祉交流学習。
近隣の小・中学校の児童・生徒の皆様がフレッシュな風を運んで来てくれました。

一泊旅行



◎中土佐町の「黒潮本陣」へ一泊。
家族と楽しい旅行になりました。

◎4人の可愛いサンタさんをゲストに迎え
会場がド～んと盛り上がりました。

